

服巻紫浪先生「秋桜忌（第十九回短歌の集い）」に関する短歌募集について（お願い）

神埼市立脊振中学校

本校では、毎年、脊振の歌人である服巻紫浪先生の偉業を称え、「秋桜忌（短歌の集い）」を開催しております。
今年度で第十九回を迎え、令和八年十一月六日（金）の午前中に、本校の文化発表会の一環として開催いたします。
つきましては、地域の皆様にも、ぜひ「一般の部」へ作品をお寄せいただき、会を盛り上げてくださいますよう、お願い申し上げます。

なお、文化発表会および「秋桜忌（第十九回短歌の集い）」の開催については、後日、改めてお知らせいたします。

【応募要領】

・裏面の応募用紙にて、ご応募ください。

・作品は、ファックスかあるいは直接中学校へお持ちください。

・脊振中学校への最終応募締切日は、十月二十日（火）です。

・「秋桜忌（短歌の集い）」においては、一般の部の短歌大賞、優秀賞、優良賞の発表も予定しております。

例 ふるさとの 脊振の山の ふところの 人の心に 花の種まく

（服巻 紫浪）

例 石崖に 子ども七人 腰かけて 河豚を釣り居り 夕焼小焼

（北原 白秋）

例 生きるとは 手をのばすこと 幼子の 指がプーさんの 鼻をつかめり

（俵 万智）



【一般の部 服巻紫浪短歌大賞作品（令和三年～令和七年）】

（令和三年度） 黄金の 稲束つかむ 小さき手 美味しいご飯 楽しみに列る

岩本 千春 様（佐賀）

（令和四年度） 祈るしか 出来ぬ自分に 腹が立ち 庭いっぱいに ひまわり植える

内村 由利子 様（脊振）

（令和五年度） ぼつぼつと あちらこちらに 彼岸花 涼しい季節 はじまる合図

西川 彩乃 様（脊振）

（令和六年度） 道の辺に 一つたらずむ青き毬 脊振の里に 秋は来にけり

堤 直子 様（脊振）

（令和七年度） 山村の 夜空彩る 大花火 歓呼とともに 未来も照らせ

吉家 恵美 様（脊振）

賞 蟬の声 儚きしらべ 夏の夢 遠く響きて 心に残る

（令和七年度 中学生の部 青春大賞作品）

賞 ひがんだ さき乱れてて うるわしい 一面赤で もみじのよう

（令和七年度 小学6年生の部 青春ジュニア大賞作品）

穂村弘という批評歌人の言葉を紹介します。「さあ始めよう、君の短歌は世界の心臓を爆破する」熱い思いが伝わってくるようですね。皆様も自分の思いを三十一文字に込めてみられませんか？

脊振中の「短歌の集い」は平成20年度に始まりました。中学生は、毎年、四季折々に短歌をよみ、「短歌の集い」の前にお気に入りの一句を選んで応募しています。

また、地域の方や保護者のみなさんと一緒に、短歌に親しむ集いにしたいという願いから、文化発表会の中で「短歌の集い」を開催しています。

さあ、一緒に短歌をよみましょう！ そして、ご応募をお待ちしています！

短歌応募用紙

令和八年度 服巻紫浪先生「秋桜忌（第十九回短歌の集い）」

短歌

※漢字にはふりがなをお付けください。

- ・短歌は、「五、七、五、七、七」を原則とします。季語は必要ありません。
- ・必ず、お名前とご住所及び電話番号を下記にご記入ください。個人情報、「短歌の集い」以外では一切使用しません。
- ・最終締切日（脊振中学校への応募締切日）は、10月20日（火）（12:00）です。

お名前		
連絡先	ご住所	
	電話番号	

ファックス送付先 神崎市立脊振中学校
0952-59-2222

※ファックスでご応募される場合は、送信面（表裏）にお間違いのないようお願いいたします。

お問合せ先 脊振中学校 教頭 電話：0952-59-2221